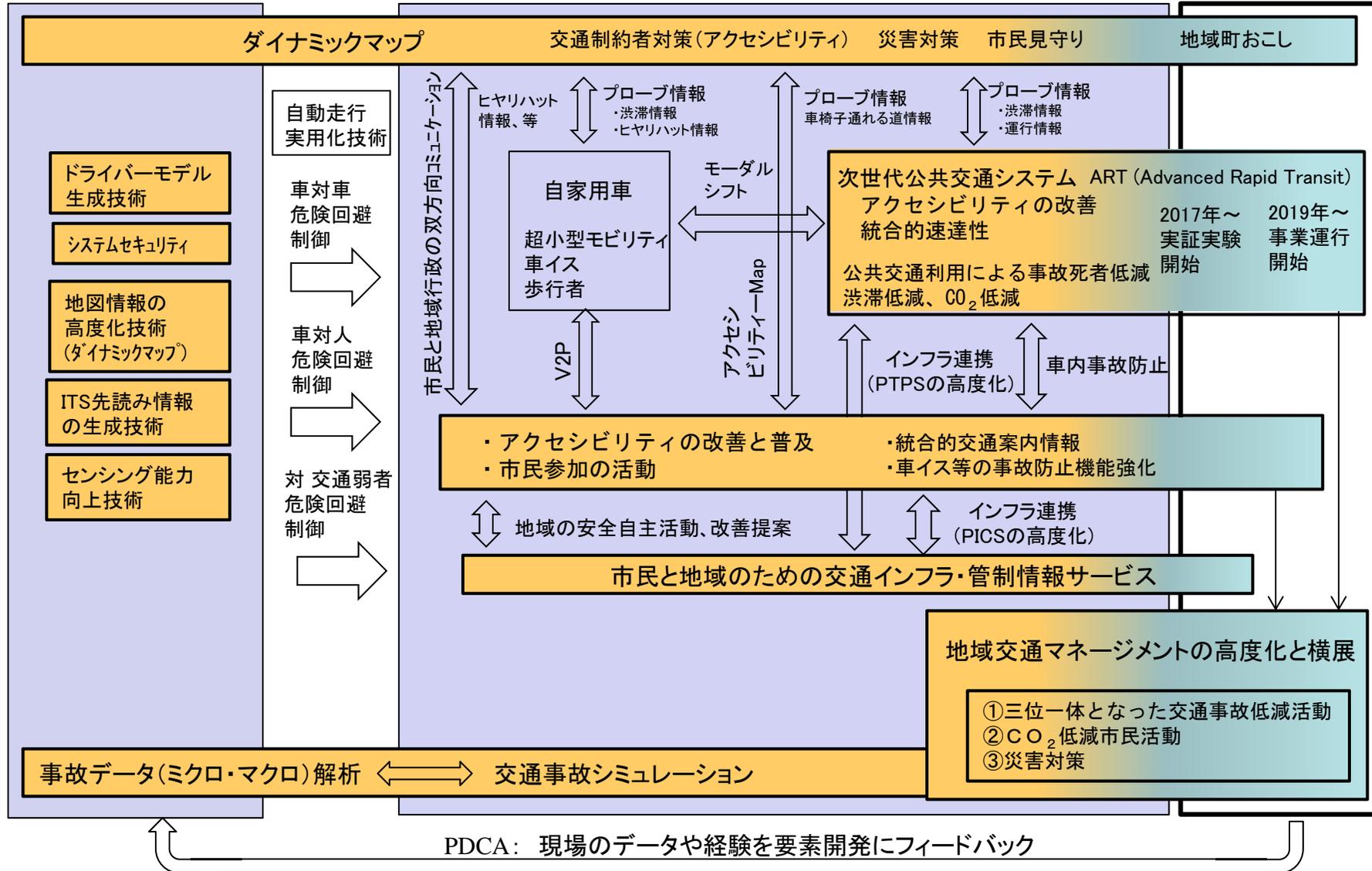


# 3. 一貫通貫の開発(研究テーマの相関関係)

自動走行システム  
システム研究開発: **SIP予算**

・国家共通基盤の構築  
・交通課題の現場(都市)での研究開発と実証: **SIP予算**

社会実装  
非SIP予算



# 3. 東京オリンピック・パラリンピック次世代公共交通システム(ART)

- <目的> ①東京および日本の次世代の発展に貢献  
②ITS・自動走行技術とICTを活用し、以下を実現  
(1)世界標準のアクセシビリティ (交通制約者対策) (2)統合的速達性

新幹線レベルのスムーズな加減速、乗客転倒防止  
・自動走行制御

待ち時間最小でシームレスな乗継ぎ  
・統合的、有機的な運行システム

速達性、定時運行性の向上  
・PTPS(公共交通優先システム)の高度化  
・自動走行制御

乗降時間短縮、乗降安全性向上  
・自動走行(正着)制御

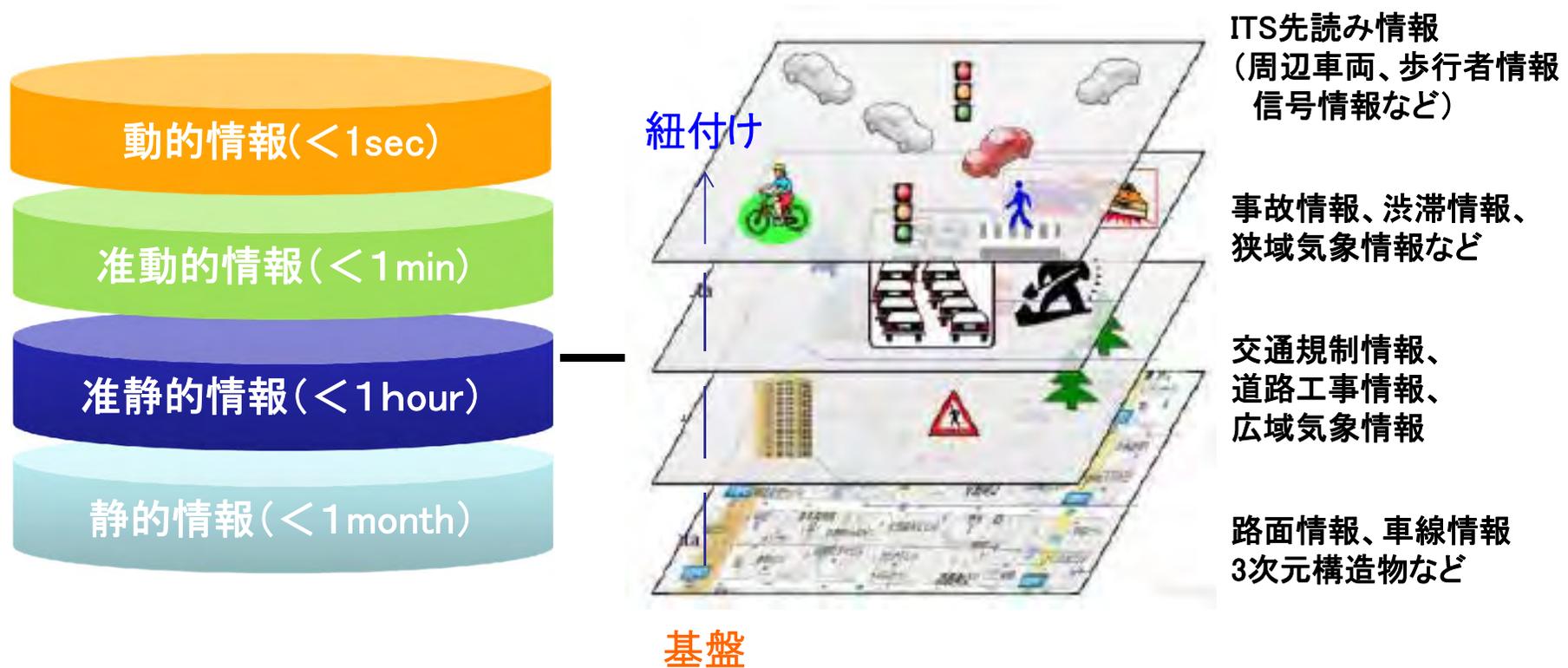
事故低減、運転負荷軽減  
・自動走行技術  
・高度運転支援

乗降時間短縮、乗客の転倒事故防止  
・車椅子固縛装置  
・非接触自動課金

交通流整流、渋滞・CO2低減  
・C-ACC

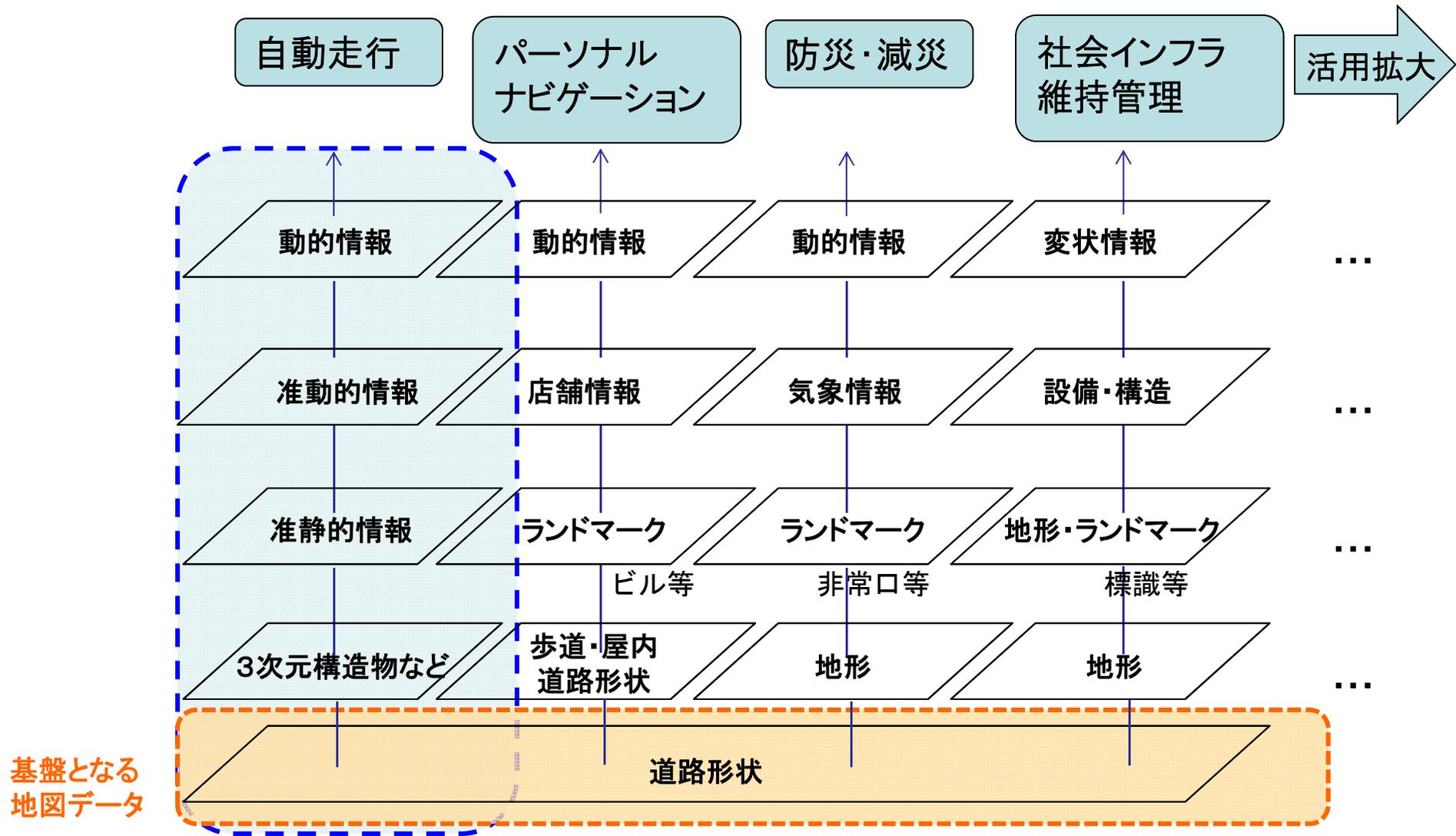
## 4. ダイナミックマップの創生

静的な情報のみでなく動的な情報(含むITS)も組み込んだデジタル地図



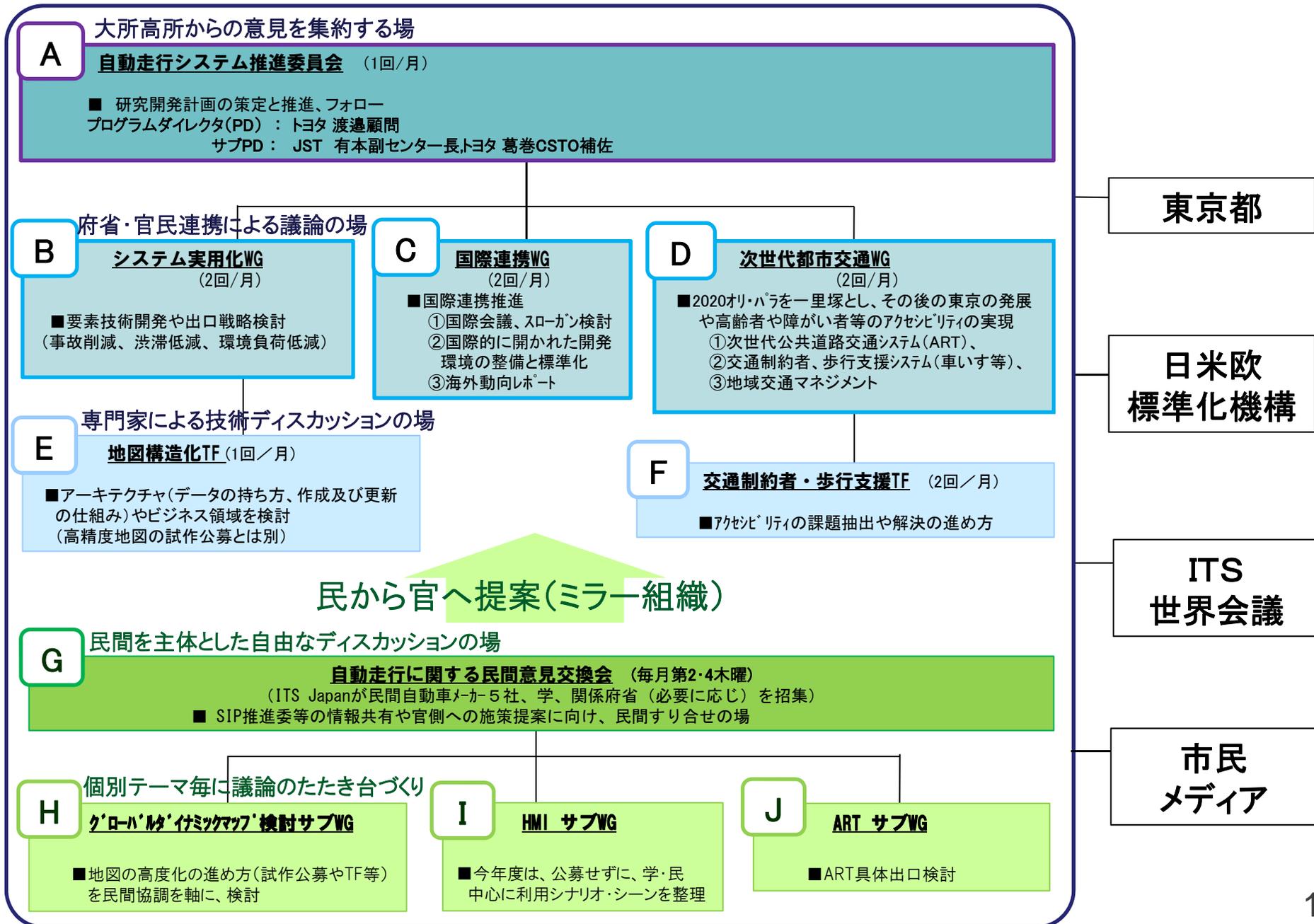
自動走行システム搭載車のみならず全ての車両へ様々なサービス提供が可能

# 4. ダイナミックマップによる産業構造の変革



自動運転のための  
構造化データ

# 官民で協力した推進体制



## 今後の課題

### ◆ S I P 研究開発をスピーディに実用化・普及に繋げるために、

- ① 一気通貫、現場主義
- ② バックキャストイング
- ③ インテグラルアプローチ
- ④ 市民対話
- ⑤ 研究開発と国際連携・標準化の同時進行

### ◆ より大きな成果を獲得するために、

1. 産業界が新たなチャレンジをしたくなる構造破壊と創生を仕組む
2. 日本がイニシアチブを取れる国際連携の仕組みにチャレンジ
3. 内閣府の「統合的機能」強化のお手伝いをしたい

**【終わりに】**

**S I P-adusは、世界の為に、日本の元気の為に前進します。**

ご清聴ありがとうございました。

# 【参考資料】SIP-adus(※)で何を変えようとしているのか？

※adus:Innovation of Automated Driving for Universal Services

## 人々に笑顔をもたらす交通社会を目指して Mobility bringing everyone a smile

1. 交通事故を減らす。国家目標の達成。
2. あなたに笑顔をもたらす社会
  - ◇アクセサビリティの改善
  - ◇移動の自由と喜び
  - ◇渋滞緩和
3. 車のダイナミクスが進化
  - ◇もっと ファン トウ ドライブ になる
4. 新産業の創生。国際競争力アップ。

【参考資料】

# Workshop on Connected and Automated Driving Systems

Innovation of Automated Driving for Universal Services (SIP-adus)  
- Mobility Bringing Everyone a Smile -

Date: November 17-18, 2014

Venue: United Nations University, Tokyo, Japan



Cabinet Office

## 開催概要

- 主催 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議  
戦略的イノベーション創造プログラム 自動走行システム推進委員会
- 日時 平成26年11月17日(月)～18日(火)
- 会場 国連大学国際会議場
- 参加者 合計:合計:372名  
(内訳)Breakout Workshop参加者:96名プレス:7名一般:212名招待:57名

<セッションの講演原稿は以下のサイトでご覧いただくことができます> <http://www.sip-adus.jp/>

